

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器を、技術スタッフが  
 厳しい目でチェック! 実用性に焦点を当てて報告します。

No.  
 138

インターネットトラフィックの傾向

豊島ケーブルネットワーク(株) 技術部 部長 上山裕史  
 今回はインターネットトラフィックの傾向について紹介します。

私たちケーブルテレビ局の技術者は、ISP(インターネット・サービス・プロバイダ)として顧客のセキュリティ確保、自ネットワークからの不正パケットの送付防止、円滑な通信の確保をするために不断の努力をしています。

今回は2020年8月のトラフィック情報を紹介します。

2020年5月、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言が発出され、全国に緊張が走りました。自宅で過ごす方が増加し、以前よりトラフィックが2倍に増加しました。その後、ウイルス感染は収束に向かうかと思われましたが、7月末に状況はさらに深刻化し東京都の小池知事は、『感染拡大特別警報』としました。ガイドラインの遵守、感染防止徹底宣言ステッカー掲示が案内され、8月の夏休みにおける人の移動と経済活動が制限されました。5月と同様の状況となりインターネットのトラフィックが増加しました。

テレワーク(在宅勤務)、遠隔授業、テレビ会議、ゲームや動画などにインターネット

が使用され、当社トラフィックを傾向管理しているMRTG(マルチ・ルータ・トラフィック・グラフ)で見ると図1のようになります。Y軸はトラフィック量です。X軸は時間軸で左側が最新となります。5月の増加を第一波とすると第二波が8月となります。グラフ中

に丸印で示します。

図2に一日の典型的なトラフィックの変化を示します。従来は夜間のトラフィックだけが突出していましたが、昼間のトラフィックも増加してきているのが在宅型(ステイホーム)の生活の特徴と考えられます。

今後、新型コロナウイルスの感染がどうなるか予断を許さない状況となっているため、ケーブルテレビ局の技術者は今後のトラフィック動向に注意を払い、新しい生活様式にあわせたインターネットサービスの知識が必要になっていきます。

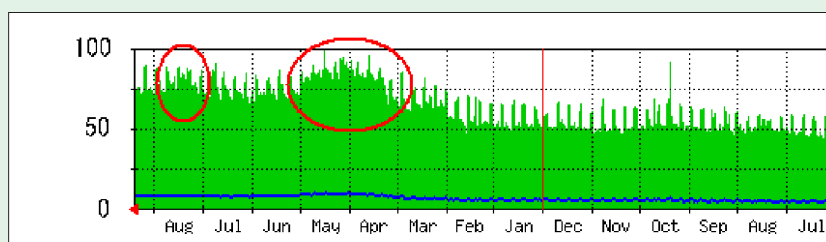


図1:MRTGで見たインターネットトラフィック

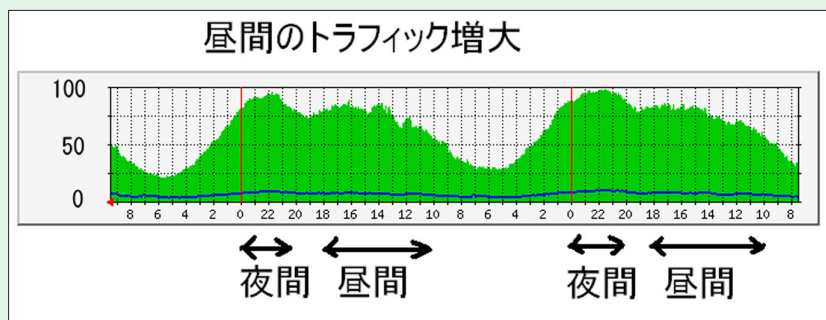


図2:一日のトラフィックの変化